

完了後の評価個表

整理番号	森1-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	北海道
ふりがな 地域(地区)名	むかわ町 ^{ちやう}	事業実施主体	北海道、むかわ町、 苫小牧広域森林組合等
関係市町村	むかわ町	管理主体	北海道、むかわ町、 苫小牧広域森林組合等
事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）	完了後経過年数	6年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 むかわ町は北海道胆振総合振興局管内の東部に位置し、北東にのびる山間部の中央を1級河川鶴川が流れ、その両側に耕地が開け集落が形成されている。面積は約71千haで、厚真町、日高町、平取町、夕張市、占冠村に隣接している。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積56千ha（森林率79%）のうち、民有林面積は36千haで森林全体の64%を占めており、内訳は私有林が19千ha（53%）、道有林が13千ha（36%）、町有林が4千ha（11%）となっている。 民有林の人工林面積は13千ha（人工林率35%）で、樹種ではカラマツとトドマツが大半を占め、齢級構成Ⅶ齢級以下の森林が36%を占めている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区では、13千haの人工林が造成され、その多くは除・間伐等の保育を必要としていたが、木材価格の低迷等に伴い、森林所有者等の施業意欲が減退しており、森林の有する多面的機能の高度発揮が懸念される状況にあった。 また、森林経営の基盤となる林道等の路網が不十分であったことから、適切な森林施業の実施や効率的な木材生産に支障があった。 このため、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、もって森林環境の保全に資することを目的として、計画的に除・間伐等の森林施業を推進するとともに、路網が必要な森林においては森林管理道の整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 607ha、下刈 1,950ha、除・間伐 1,866ha、受光伐等 618ha 作業路整備 7,575m</p> <p>森林管理道整備</p> <table border="1"> <tr> <td>① 富内第2線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>2,327m</td> <td>利用区域面積</td> <td>519ha</td> </tr> <tr> <td>② 隆農線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>1,320m</td> <td>利用区域面積</td> <td>67ha</td> </tr> <tr> <td>③ 仁和中央線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>3,968m</td> <td>利用区域面積</td> <td>293ha</td> </tr> <tr> <td>④ 春日旭岡線</td> <td>車道幅員</td> <td>3.0m</td> <td>開設延長</td> <td>2,250m</td> <td>利用区域面積</td> <td>236ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,754,330千円 (当初総事業費 3,457,386千円)</p>	① 富内第2線	車道幅員	3.0m	開設延長	2,327m	利用区域面積	519ha	② 隆農線	車道幅員	3.0m	開設延長	1,320m	利用区域面積	67ha	③ 仁和中央線	車道幅員	3.0m	開設延長	3,968m	利用区域面積	293ha	④ 春日旭岡線	車道幅員	3.0m	開設延長	2,250m	利用区域面積	236ha
① 富内第2線	車道幅員	3.0m	開設延長	2,327m	利用区域面積	519ha																							
② 隆農線	車道幅員	3.0m	開設延長	1,320m	利用区域面積	67ha																							
③ 仁和中央線	車道幅員	3.0m	開設延長	3,968m	利用区域面積	293ha																							
④ 春日旭岡線	車道幅員	3.0m	開設延長	2,250m	利用区域面積	236ha																							

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成29年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業内容の変更や低コスト化に伴い、事業採択時に比べ総便益は増となり、総事業費及び総費用が減となった。</p> <table border="1"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>19,289,417千円</td> <td>(事業採択時)</td> <td>18,272,402千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>4,077,875千円</td> <td>(事業採択時)</td> <td>5,706,712千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>4.73</td> <td>(事業採択時)</td> <td>3.20)</td> </tr> </table>	総便益(B)	19,289,417千円	(事業採択時)	18,272,402千円)	総費用(C)	4,077,875千円	(事業採択時)	5,706,712千円)	分析結果(B/C)	4.73	(事業採択時)	3.20)
総便益(B)	19,289,417千円	(事業採択時)	18,272,402千円)										
総費用(C)	4,077,875千円	(事業採択時)	5,706,712千円)										
分析結果(B/C)	4.73	(事業採択時)	3.20)										
② 事業効果の発現状況	<p>本事業で植栽されたカラマツやトドマツの成長は良好で、間伐等を行った箇所とともに多様な環境を持つ健全な森林として育成されており、木材生産のほか、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。 森林管理道が整備された区域において、森林施業の効率化、木材生産の低コスト化が図られたことから、整備前は5年間で72haだった保育や除・間伐及び主伐が、整備後は866ha実施され、今後も784haの森林整備が計画されるなど森林施業が活性化された。</p>												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により開設された林道は、むかわ町が定めた林道維持管理規程に基づき管理されている。</p>												
④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備が実施され、林内の明るい単層林や針広混交林が整備され、森林の環境が向上してきている。 林道開設による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。</p>												
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>林道整備により、作業現場へのアクセス改善、集約化による森林施業コストの低減が図られることで、森林所有者による森林施業の意欲が徐々に高まってきており、持続的な森林経営と間伐等の生産性向上が図られるとの期待がより一層高まってきている。</p>												

<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林施業の実施に対する意欲が徐々に増進されてきているが、木材価格の低迷等により間伐等の実施状況が十分とは言えない状況であることから、森林所有者に対する森林施業実施の普及啓発等を行い、積極的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。林道の開設後は、沿線の小溪流等へ散策に訪れる者が増加するなど、地域住民と森林のふれあいの場となっているとともに、森林災害等の早期発見に寄与している。(むかわ町) ・ 森林施業の集約化を図り低コスト化を推進し、森林所有者の林業経営意欲の向上を図るため、計画的かつ効率的な森林施業の実施に努める必要がある(苫小牧広域森林組合)
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地元の意見にも見られるとおり、本事業の施工後は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、本事業の効果が発揮されていること、森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていることから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備にあたっては、森林吸収源対策として間伐等の森林整備を優先的に実施していること、林道整備にあたっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施にあたってコスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセスが容易になり、森林整備を実施するコストも縮減されることから、今後も事業効果の発現が見込まれていること、林道が災害時の迂回路としても機能していること、森林整備により、森林の景観が向上してきていることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 北海道

地域(地区)名: むかわ町^{ちよう}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,326,993	
	流域貯水便益	1,149,981	
	水質浄化便益	2,438,574	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,108,138	
環境保全便益	炭素固定便益	1,439,092	
木材生産等便益	木材利用増進便益	1,602	
	木材生産確保・増進便益	1,371,299	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,453,738	
総 便 益 (B)		19,289,417	
総 費 用 (C)		4,077,875	
費用便益比	$B \div C = \frac{19,289,417}{4,077,875} = 4.73$		

森林環境保全整備事業 むかわ町地区 概要図 【北海道】

